

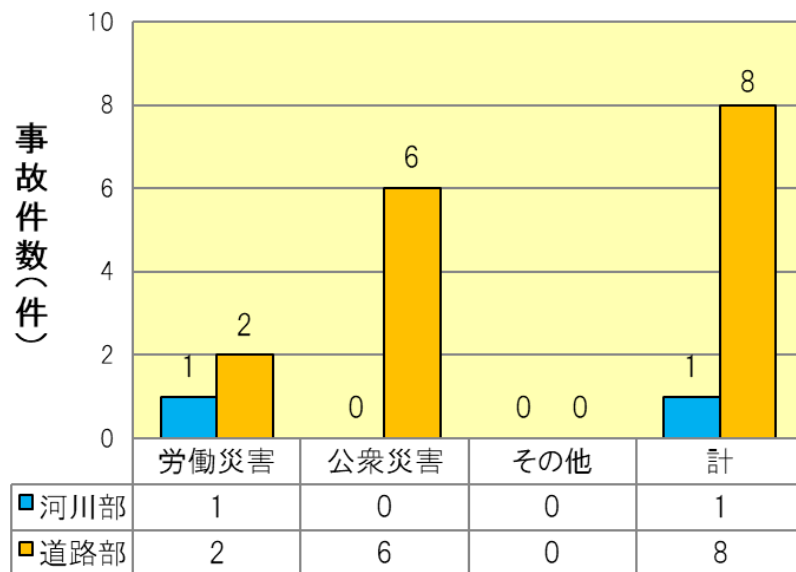
令和7年度(上半期)中国地方整備局発注工事等の事故発生状況

○令和7年度上半期(10月1日現在)の直轄工事における事故の措置件数は9件。河川部1件、道路部8件の措置状況。

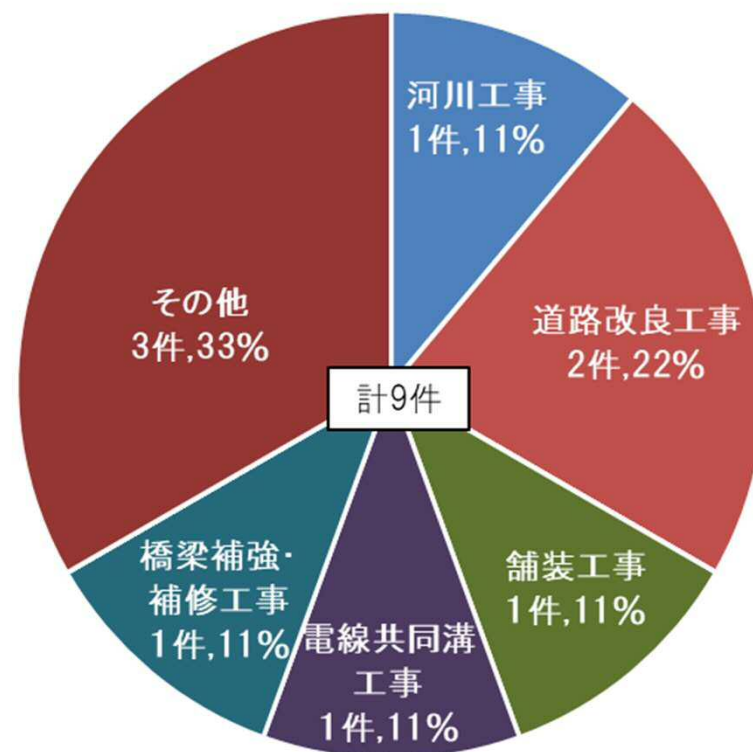
○工事種別では、道路改良工事(2件)、河川工事(1件)、舗装工事(1件)、電線共同溝工事(1件)、橋梁補強・補修工事(1件)、その他(4件)、で複数の工種で発生。

事故発生件数	労働災害	公衆災害	その他
河川部	1件	1件	0件
道路部	8件	2件	6件
合 計	9件	3件	6件
	(100%)	(33%)	(67%)

R7年度 事故発生状況



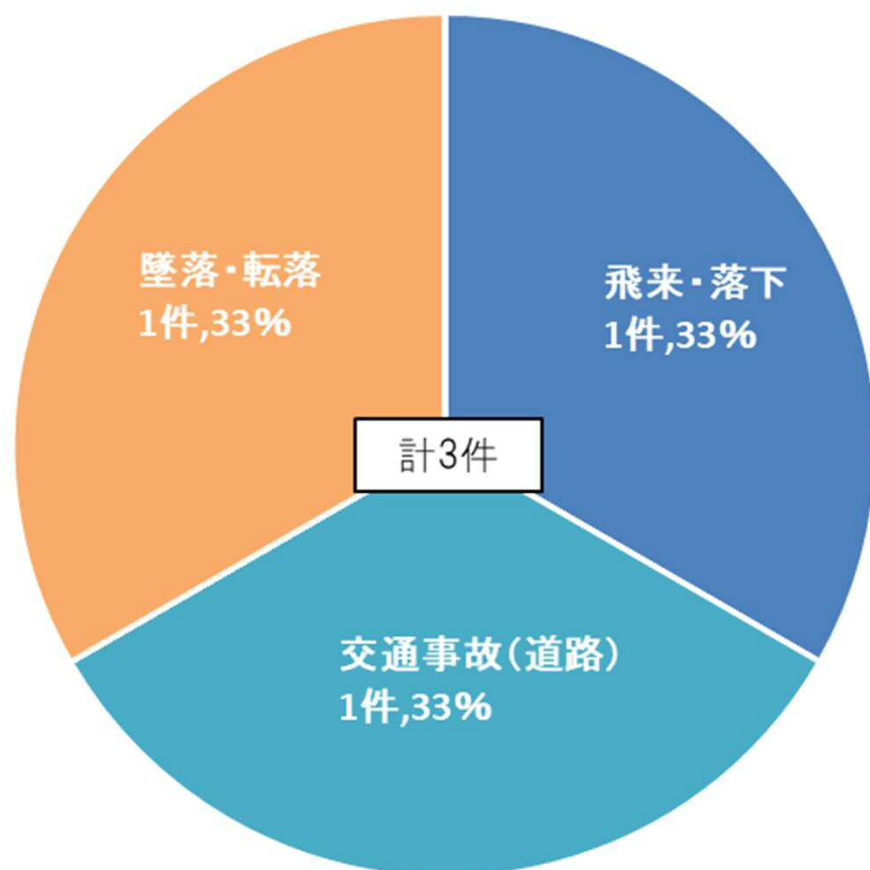
工事種別毎の内訳(種別、件数、割合)



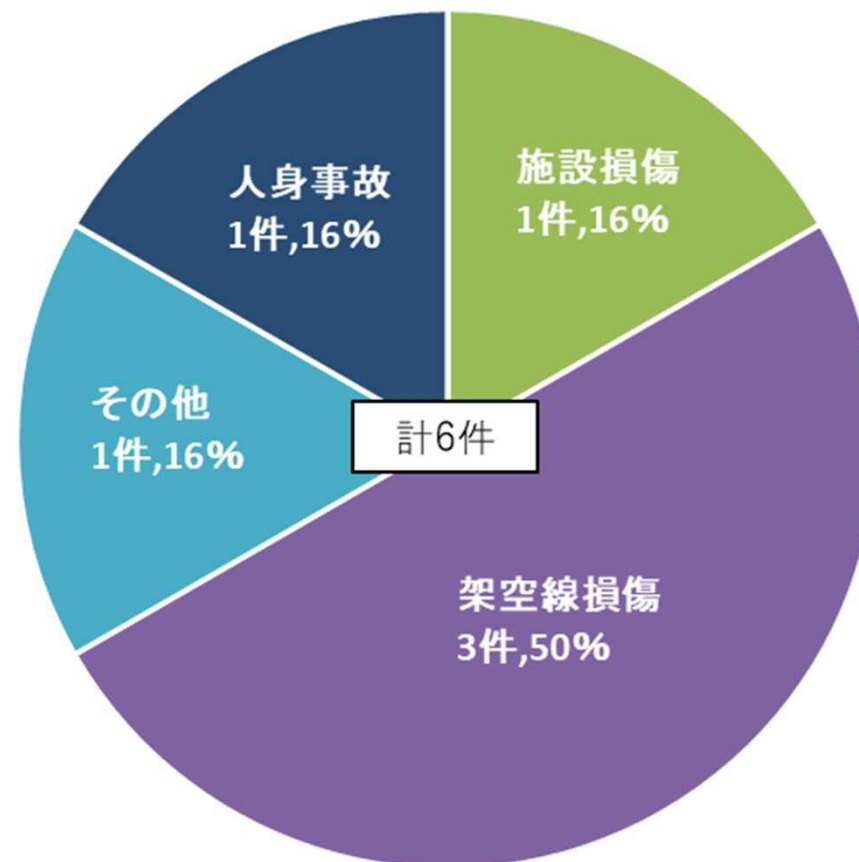
※営繕部、港湾空港部を除く工事事故で、
元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 労働災害は「墜落・転落」、「飛来・落下」、「交通事故(道路)」が各1件発生している状況である。
- 公衆災害は「架空線損傷」が3件、「施設損傷」、「人身事故」、「その他」が各1件発生している状況である。

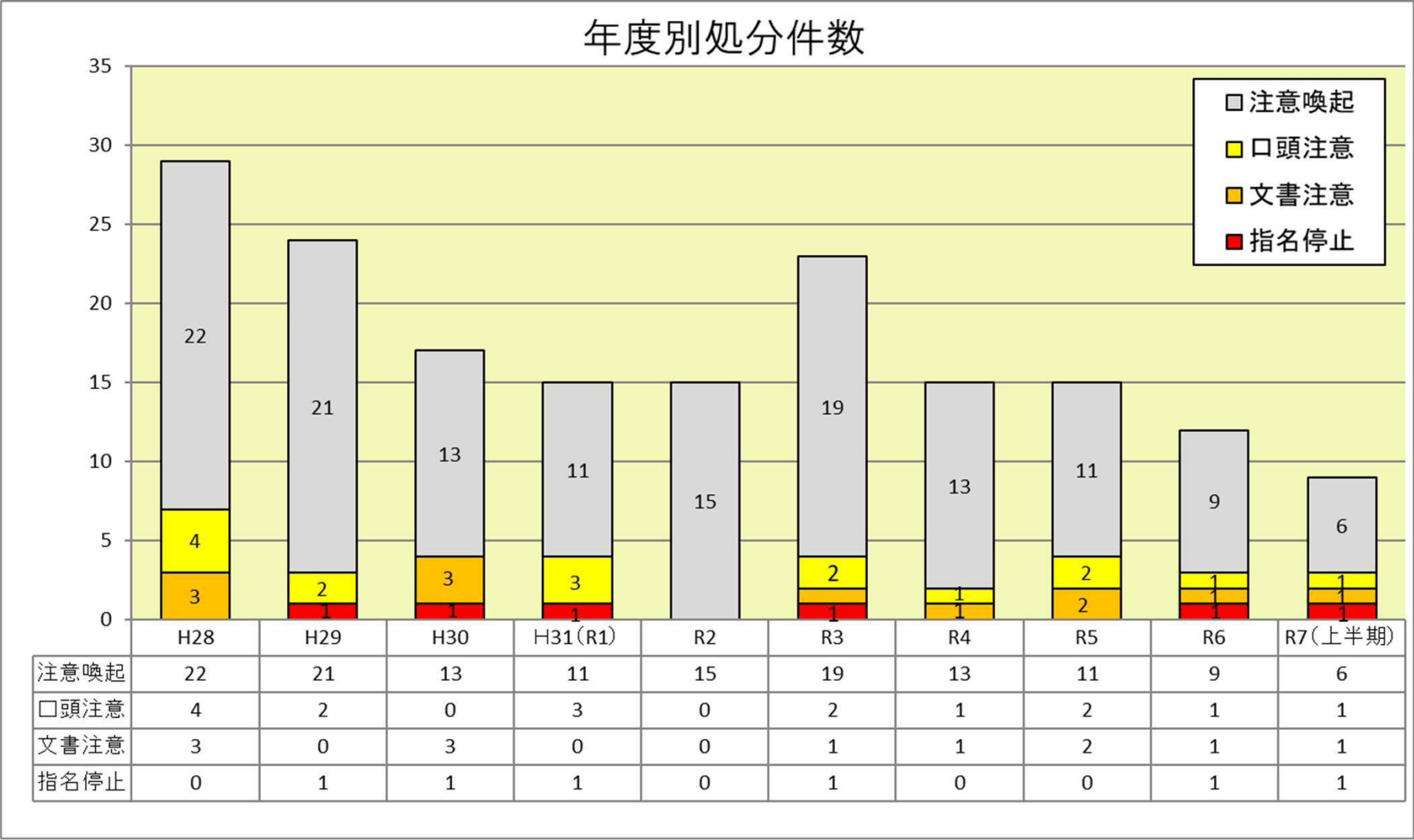
労働災害の内訳(種別、件数、割合)



公衆災害の内訳(種別、件数、割合)



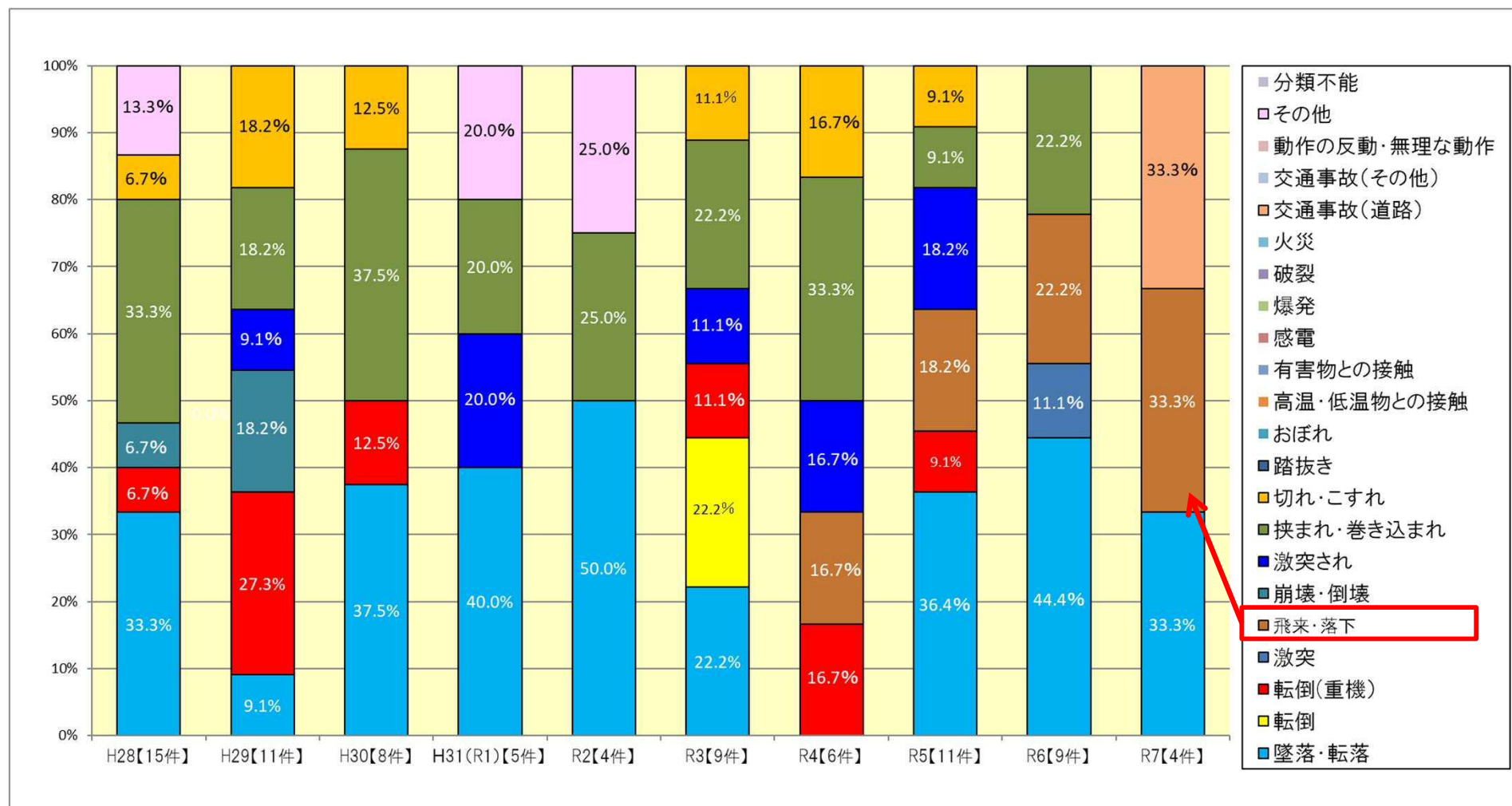
○令和7年度(上半期)の事故後の措置は「注意喚起」が6件、「口頭注意」、「文書注意」、「指名停止」が各1件。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの
※指名停止の1件は令和元年に発生した工事で令和3年度に措置が確定したもの。

○令和7年度(上半期)は、「飛来・落下」の事故は、令和4年度から毎年発生している。

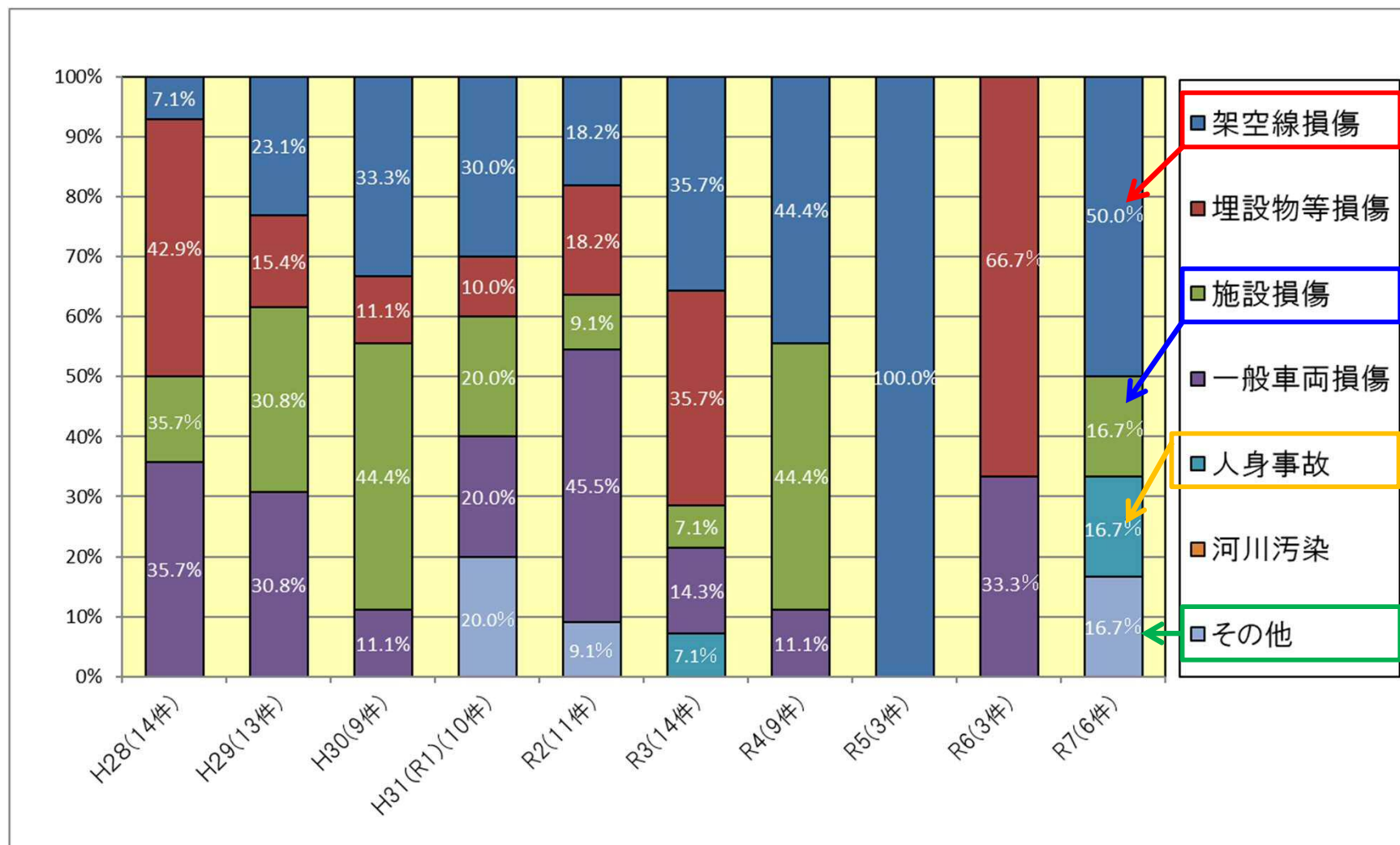
工事関係者事故(労働災害)の内訳



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

○令和7年度(上半期)は、「架空線損傷」、「施設損傷」、「人身事故」及び「その他」の事故となっている。

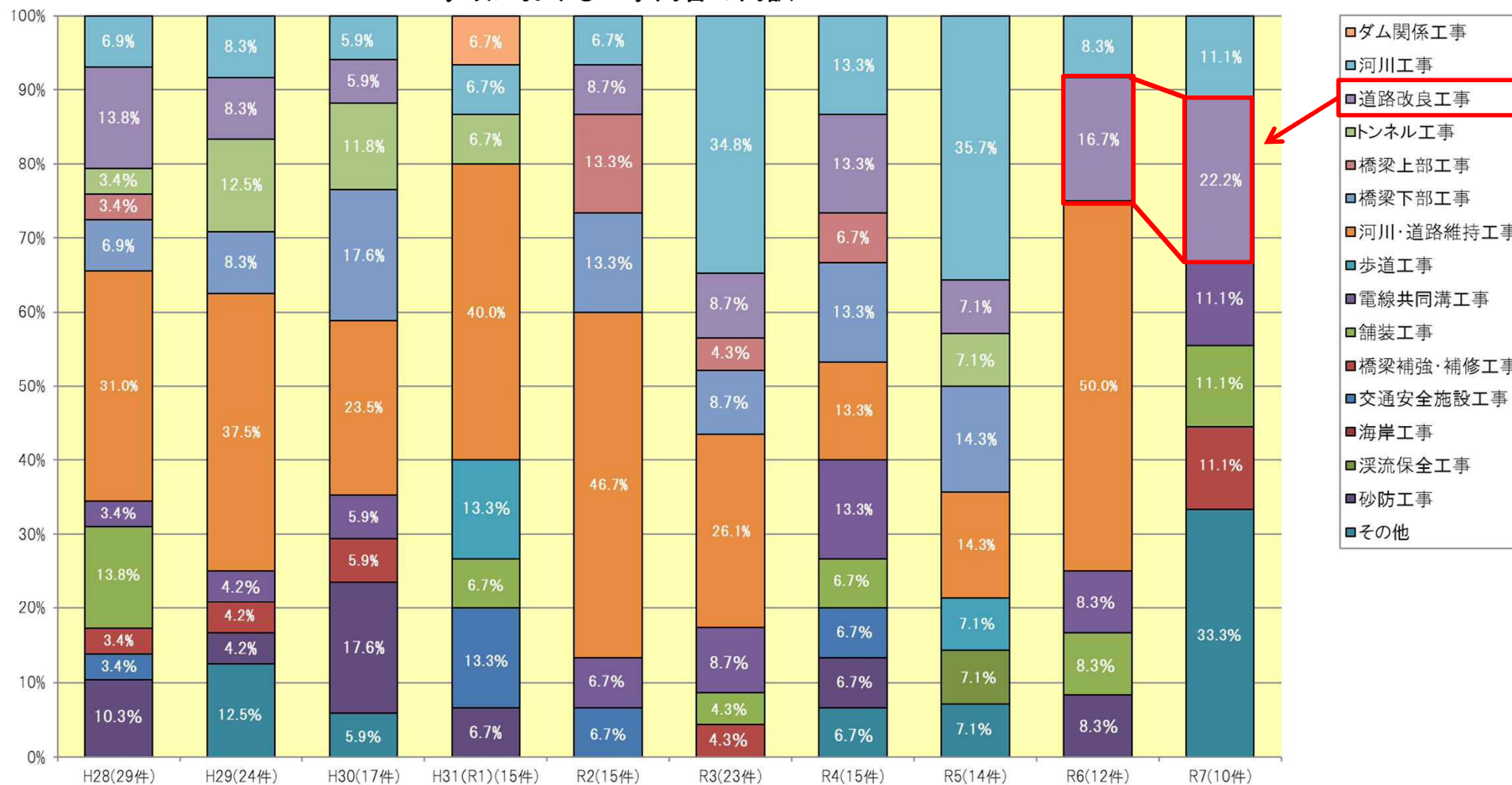
公衆損害事故(公衆災害)の内訳



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

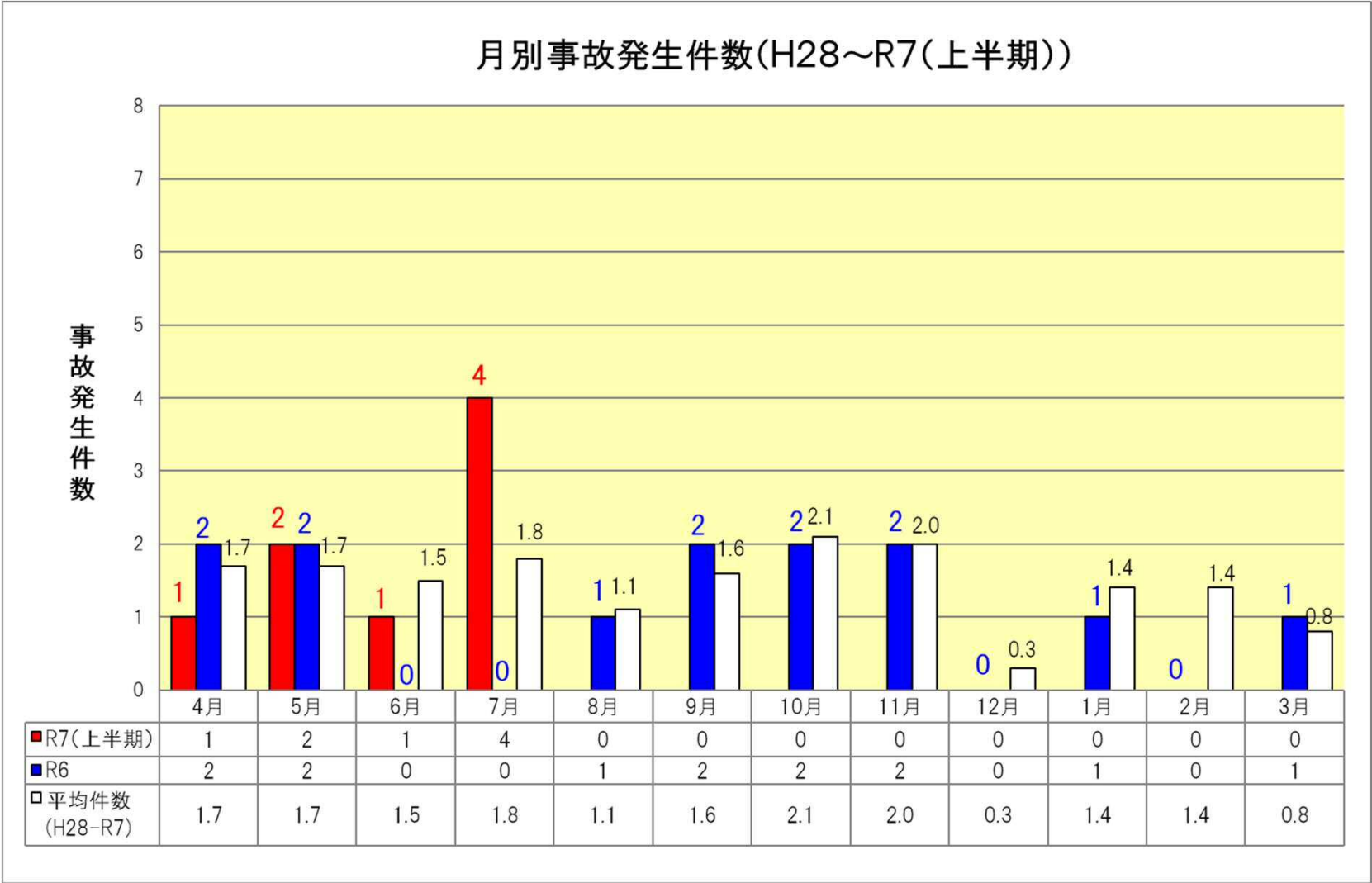
○例年、「道路改良工事」での事故が発生しているが、R7(上半期)だけでもR6の1年間に比べ多い傾向にある。

事故における工事内容の内訳



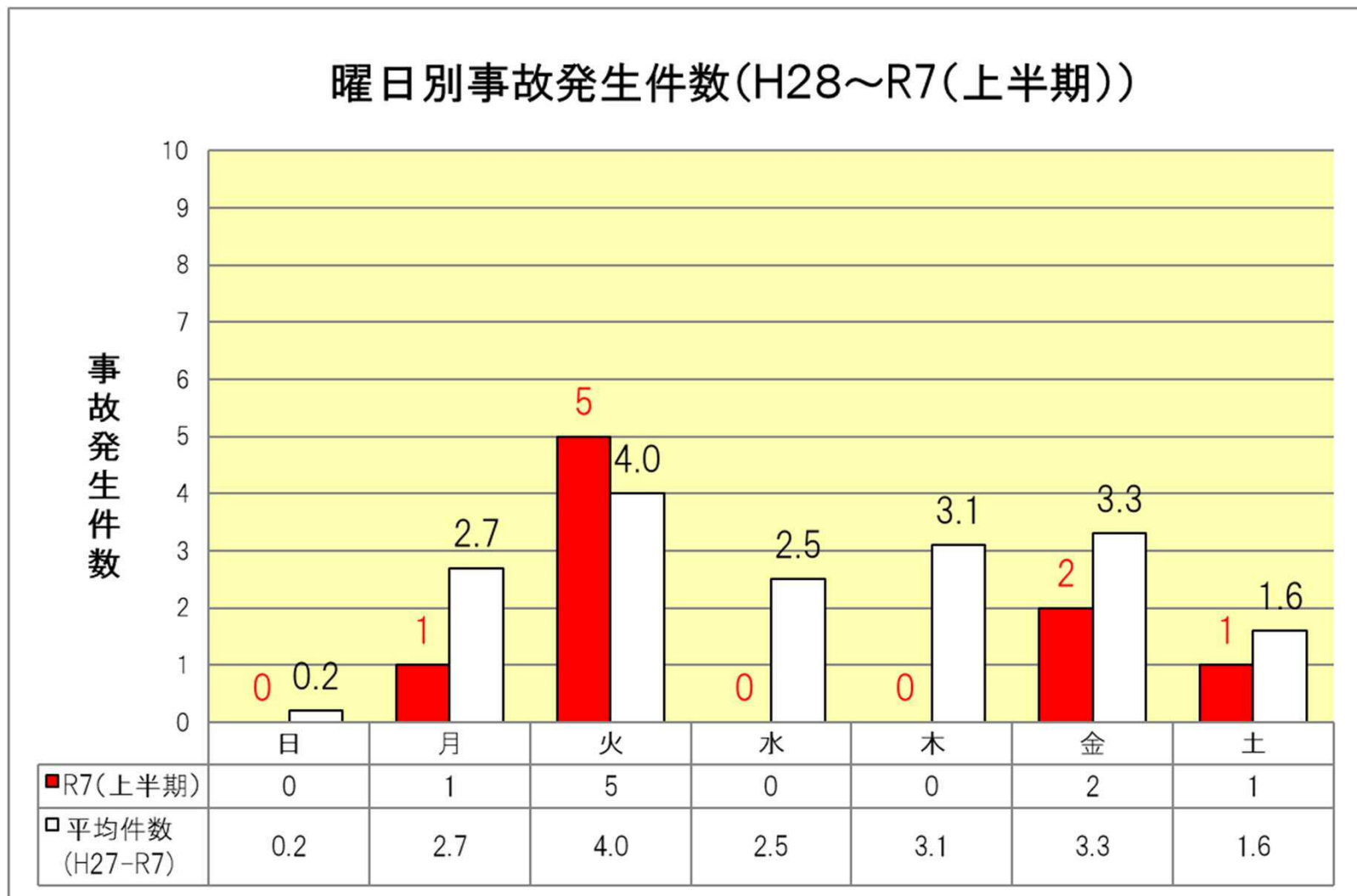
※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 令和7年度(上半期)は、4, 5, 6, 7, に毎月事故が発生。
- 令和7年7月は、平均件数の1.8件に比べ4件と急増している。



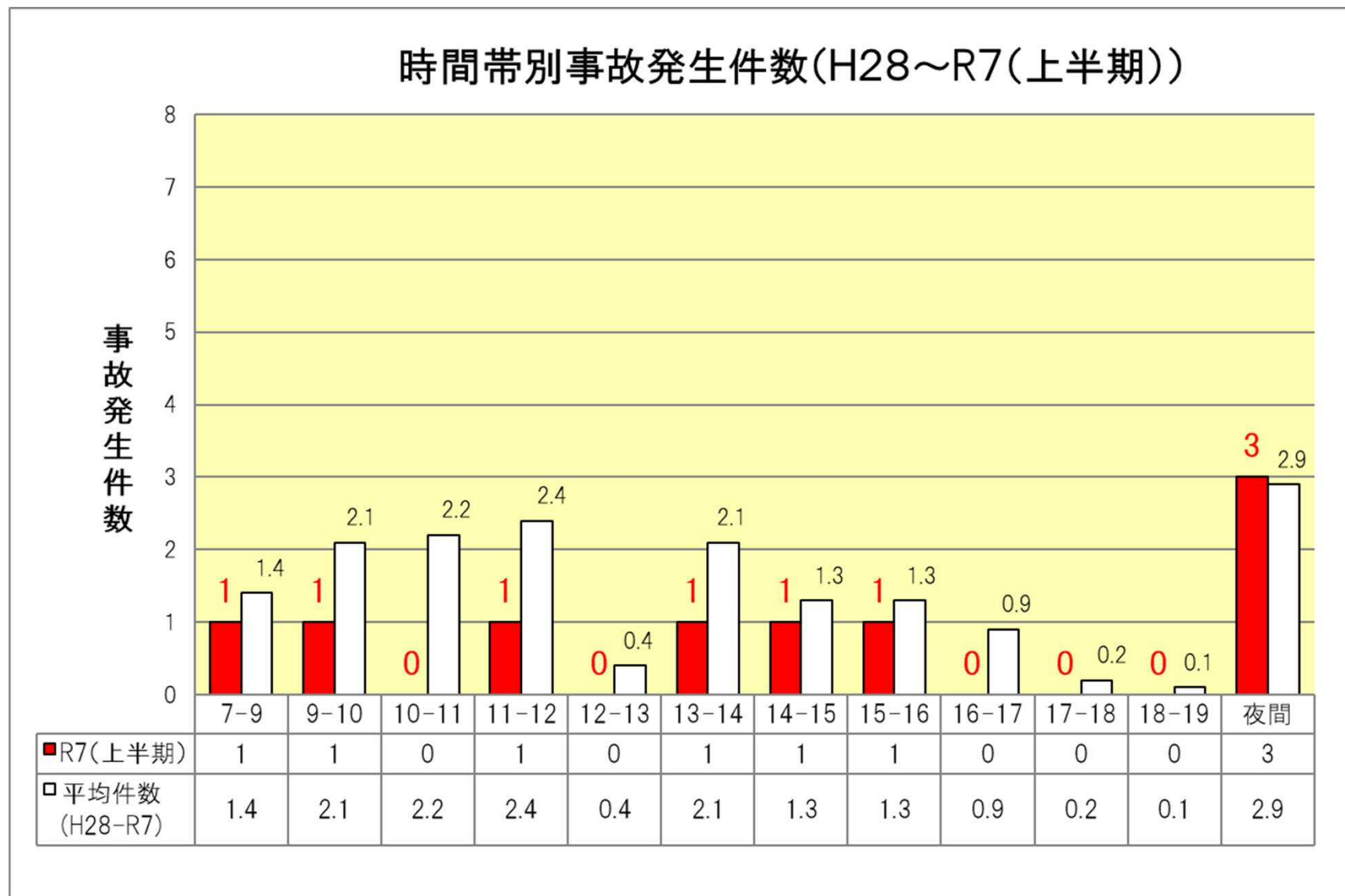
※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 過去10年間の平均では、平日は曜日に関係なく3件程度の事故が発生している。
- 令和7年度(上半期)は、火曜日が最も多く、次いで金曜日に多く発生している。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事務で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 過去10年間の平均では、午前9時から12時までの時間帯での発生が多く、夜間の発生も多い傾向である。
- 令和7年度(上半期)は、夜間の時間帯に事故が多く発生している。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの